

福岡開催

文藝春秋カンファレンス

全社一丸で取り組む 「DX」進化論

参加費無料

事前登録制



篠崎 彰彦 氏

九州大学 大学院経済学研究院
国際経済経営部門 教授



DXを推進することでいったい何を実現したいのか、そして何が実現できるのか。デジタル活用による業務プロセスの効率化と並行し、全社一丸となってリソースを集中し、新たな価値を創造することが、成長には不可欠となっています。DXの成果を最大限に引き出すために、企業のリーダーがまず取り組むべきことは、目的を明確に示し、実現のためにどのような手段を取るべきかについて、ビジネスをデザインしていくことが求められています。

日々テクノロジーが進化していく中、企業のリーダーは、変えること変えないこと、既存事業と新規事業の最適な融合、あるべき姿の実現に向け全社に変革の風を巻き起こす推進力、さらには、変革の定着、行動変容の推進など、試行錯誤を繰り返しながら最適解を見つけるべく格闘をしています。

本カンファレンスでは、「全社一丸「DX」進化論」をテーマに、ビジネスリーダーの皆様にご登壇をいただき、DXを進めるうえでの失敗の経験と成功への実践知を共有することで、DX推進の転換点にさせていただければと存じます。

開催日程

2023年10月26日 木 14:00~16:40

会場

博多国際展示場&カンファレンス(福岡市博多区東光2丁目22番15号)

参加対象者

企業経営者、経営層、デジタル推進部門、情報システム部門など

定員

100名

主催 文藝春秋

協賛

Dropbox

JBCC

お申込みは
こちらから

<https://bunshun.jp/articles/-/64812>

(お問い合わせ) 文藝春秋 メディア事業部 Email: ad.bungeishunju-g@bunshun.co.jp



福岡開催

文藝春秋カンファレンス

全社一丸で取り組む「DX」進化論

14:00~14:05

オープニング

Dropbox Japan株式会社
代表取締役社長
梅田 成二氏



14:05~14:50

基調講演

DXは日本企業復活の起爆剤になる 失われた30年からの脱却と高付加価値経営へのパラダイムシフト

九州大学 大学院経済学研究院
国際経済経営部門 教授
篠崎 彰彦氏



日本開発銀行、経済企画庁調査局、ハーバード大学イェンチン研究所等日米の機関で調査研究に携わり2004年より現職。経済財政諮問会議「成長力加速プログラム・タスクフォース」委員、内閣府経済社会総合研究所主任研究官、総務省参与（OECD国際会議）、九州大学総長特別補佐、社会情報学会理事等を歴任。貿易奨励賞、フジタ未来経営賞／経済賞、テレコム社会科学賞、ドコモ・モバイル・サイエンス賞社会科学部門奨励賞を受賞。著書は『情報技術革新の経済効果』日本評論社、「インフォメーション・エコノミー」NTT出版、Accelerating Japan's Economic Growth (共著 F. Gerard. Adams, Lawrence R Klein, Y. Kumasa-ka, A. Shinozaki) Routledgeほか。

14:50~15:20

課題解決講演①

DXを成功に導く次世代型ワークスタイル

最近ではデジタルトランスフォーメーション(DX)はデータの利活用に重点を置いていますが、DXを推進するために必要な要素としてワークスタイルトランスフォーメーション(WX)も重要視されるようになってきました。Dropboxが提供する柔軟なデータコラボレーションは、お客様の課題解決のみならず、生産性と品質向上をもたらすことができる可能性を秘めています。本セッションではDropboxが提供する次世代型ワークスタイルがどのようにお客様のDXを成功に導くかをご紹介します。

Dropbox Japan株式会社
エンタープライズ営業本部
本部長
龍村 洋一氏



15:30~16:00

課題解決講演②

DX時代におけるデータ基盤の進化とサービス要件

昨今の技術革新により、ストレージ製品は益々超高速・大容量に進化を遂げており、マルチクラウド、ビッグデータに対応していくため、更に高度な機能を搭載しています。そのような状況下でハードウェアを所有する事での足枷・縛りがユーザー企業様の負担を増加させています。DX時代におけるデータ基盤のサービス要件を整理し、その対応策についてご紹介いたします。

JBCC株式会社
ソリューション事業
ハイブリッドクラウド事業部
クラウドDX本部 本部長
廣瀬 貴之氏



中堅企業に必要な勝ち残るためのDX基盤

パンデミックの中で企業内で会議のオンライン化、コミュニケーションの効率化、紙のデジタル化などが進み私たちの働き方は大きく変わりました。様々なモノやコトがデジタル化の中で、企業で扱うデータやコンテンツも増加の一途をたどっています。また、世の中ではサイバー攻撃も多様化してきているため、そういった脅威から会社の資産をどう守るかが企業における喫緊の課題です。そういった状況下で、レガシーな仕組みを利用しては会社の大事な資産を脅威から守るどころか真のDXも実現できません。本セッションでは企業の成長を支える環境はどうあるべきか、多様化する脅威からどう社内の資産をどう守っていくべきか、効率化とセキュリティの両面から企業のDX基盤はどうあるべきかをご紹介します。

JBCC株式会社
ハイブリッドクラウド事業部
クラウドDX本部
コラボレーションエバンジェリスト
齋藤 晃介氏



16:00~16:40

ディスカッション

DX成功の秘訣を知る！ 導入事例ディスカッション

従来のオンプレミス運用で抱えていた多くの課題を、Dropboxを導入したことで見事解決された絆ホールディングス様。社内DX推進成功の秘訣をパネルディスカッション形式でご担当者様にお伺いします。



(左)
株式会社絆ホールディングス
取締役 経営企画室 室長
吉田 倫子氏
(右)
経営企画室 システム担当
揚田 充俊氏



JBCC株式会社
ハイブリッドクラウド事業部
クラウドDX本部
コラボレーションエバンジェリスト
齋藤 晃介氏



Dropbox Japan株式会社
DX戦略室 室長
矢作 一樹氏